

☆公害による健康被害を許すな!
 ☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



たかさごゆりのタネ
画・加納忠

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
 〒540-0026 大阪府中央区内本町2-1-19
 内本町松屋ビル10 370号
 TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
 E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
 URL http://oskougai.com/
 発行責任者 金谷 邦夫
 年間購読料一部2,000円(送料共)

建設アスベスト訴訟の勝利とともに これからのアスベスト対策を

大阪アスベスト対策センター 伊藤 泰司

関西建設アスベスト大阪訴訟の第2陣が提訴されるなど、アスベストをめぐる動きが注目されています。これからのアスベスト対策について考えます。

1 これからのアスベスト対策にとって、建設アスベスト訴訟の勝利が決定的な意味をもつ

現在全国の6ヶ所でたたかわれている、建設アスベスト訴訟は、国の規制権限不行使の責任と、「毒を売って儲けた」アスベスト建材メーカーの責任を問う訴訟です。国民みんなに関わるこれからのアスベスト被害を食い止めるうえで極めて大きな意味をもつ訴訟であり、その勝利のために支援をいっそう強める必要があります。

2 自治体職員のレベルアップが必要

私は大阪府立金岡高校のアスベスト飛散事件や、堺市北部整備事務所の煙突ハツリ事件などで、第三者委員会の委員を務めてきています。これらの事件の教訓は、現行の法律を守っているだけではダメと痛感しました。現場で判断できる専門家の配置が必要です。自治体職員の関係者

の研修やレベルアップがどうしても必要です。

注) はつりとは削岩機のような振動工具を使ってコンクリートを壊すことです

3 自治体交渉の視点を変える

「自治体に、アスベストのことがよくわかる職員を配置する」「関係部署の職員の研修を行う」「アスベスト残存の建物のリストと地図化を本気になって行う」「大気汚染防止法の不十分さをカバーする条例づくりをすすめる」「震災・津波とアスベスト対策をともに考える」など、自治体職員といっしょになってこれからのリスクを回避する策を講じていく必要があります。

4 公共の建物こそ危ない

国土交通省は、全国で280万棟の(民間の)建物にアスベスト建材が残っているとしています。しかし、実は公共の建物にも同じくらいのアスベストが残っていて、それらの解体・改修が進められています。

5 レベル3建材のこと

吹き付けアスベスト建材(レベル1)や、断熱アスベスト材(レベル2)に比べて天井材、屋根材、スレートなどのレベル3建材で使われたアスベストが圧倒的に多いのです。し



煙突ハツリ事件

屋上に出た部分の煙突を削った後。この下のボイラー室にあと4メートル余りが残っている。煙突の本体は、カポスタックと言うニチアスの製品で、5cmの肉厚、内径30cm、高さ90cm、茶石綿が重量の80%を占める。これをつなぎ、周りをコンクリートで固めたものが煙突だ。

煙突の本体はほとんど茶石綿そのものだと言ってもいい。非常に危険なものだと言わなければならない。これをハツリ工事で処理するというとんでもないことをした。

かし、法律は位置づけが低く、この状態を変えさせることが必要です。

6 建設従事者の運動と、住民運動との連携・共同を

建設アスベスト訴訟の勝利をめざすうえでも、これからの市民の被害を防止するうえでも、建設労働者が、アスベストについての知識をもっと身につけて、住民運動と結びついていく活動が大事だと考えます。と同時に、市民の側も環境汚染を防止するため、自らの被害を防止するために建設アスベスト訴訟の勝利をめざす支援活動の強化が必要と考えます。



金岡高校の校舎にあった吹き付け青石綿